

千葉のキーマンに聞く2026

都機工

社長

長橋 初氏



「自社展示会『ソリューションフェア2026』を6月4日、5日に開催します。『ただ製品を販売する』『モノ売り』からお客様さまの生産現場の課題を解決する『コト売り』をメインに事業展開したいと考えるなか、2009年にスタートした展示会だ。

ソリューションフェア開催、テーマはAI活用

隔年で開催しており、今回で12回目となる。協賛メーカーに工場内の課題を解決する製品を展示してもらい、当社の取引先企業を招待するという形で展開している。来場者へのアフターフォローや潜在需要の掘り起こしなど、メーカー側へのサポートもしているため、実

際受注につながるや、すいなど協賛メーカーから評価いただいている。今回のメインテーマは「AI活用」です。「この1年くらいでAIは急速に進化している。活用するしないでは産業界のゲームチェンジャーになるかもしれない。AIを無料で使えるツールもある。活用することが企業の成長につながる。そこで出展企業には「自社製品をどう現場でAI活用するか」「自社でAIをどう活用しているか」を展示ブースで紹介してもらおう」

「出展したいというメーカーは年々増えている。顧客ニーズにフィットするような企業を選んでいる。大手企業からニッチな技術を持つ中小企業まで幅広く紹介できるように心がけている」

「製品販売だけでなく、耐震補強や建築全般、アスベスト分析など工場内のあらゆる課題を解決できる体制を整えている。工事に伴う資格者を有しているのが同業他社との差別化ポイントだ。同コーナーで工場内の悩みを相談いただけよう」

「象徴的なイベントが開催される26年の5月1日に創業60周年を迎えます。これまで一つの目安としていた売上高100億円を25年8月期に達成できた。さらに事業基盤を強化し、顧客企業に

と同時に社員が誇れる企業でもありたい」

ソリューションフェア 2026
協賛メーカー82社が出展!
AI活用セミナーも開催

6月4日/5日 柏の葉カンファレンスセンター
(三井ガーデンホテル柏の葉2F)
工場内の課題を解決する製品が一堂に

所在地=千葉県松戸市西馬橋幸町122-1
TEL=047-348-8112

マイクロ・テック

社長

田上 洋二氏



「対話型AI(人工知能)『チャットGPT』を初めて操作した時、単に業務の効率化にとどまるのではなく、産業革命の再来を確信した。AIにはエヌビディア製などの高性能半導体が不可欠で、

次世代半導体製造で、産業革命の担い手に

データセンター(DC)にも大量の高性能半導体が必要になり、製造工程の課題解決ニーズは増える一方だ。当社は電子部品製造装置が主力だが、即座に名刺へ「半導体製造装置」の文字を加え、開発に乗り出した」

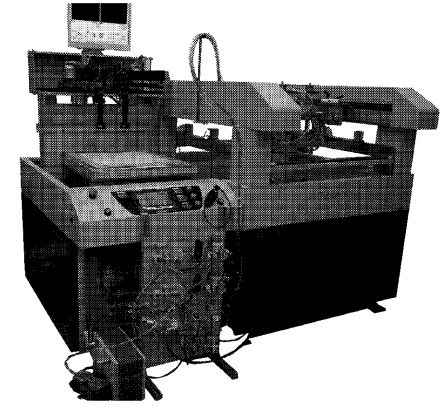
「次世代のガラス基板向けに、スルーホール(基板の接続用貫通穴)へ導電ペーストや樹脂を精密充填する装置を開発した。すでに海外を含む十数社から引き合いがあり、過去に例がない件数のテスト依頼が届いている。サプライチェーン(供給網)の『ど真ん中』

かつ上流に携わっている自負があり、社員の誇りや活力にもつながるはずだ」

「新たな経営の柱となり。今回の新商品についてもガラスだけではなく、他の素材やより厚みのある基板、より小径のスルーホールに充填できる技術の開発を進める。今後も技術開発のスピードを加速していく。我々は開発型企業としてユーザーの課題を解決し、共に成長してきた。今回の好機を確実にものにしたい。次の15年を見据えた経営の柱に育てる。世界を動かす技術に携わる喜びを分かち合い、さらなる企業価値

の向上を目指したい」

「経営方針も刷新されています。『孫子やドラッカーの教えを基に、『3つのオンリーワン』、5つの信条、8つの行動指針』を策定中だ。成功の利益を社員に還元し、物心ともに豊かになるための道標とする。社内に浸透させるため、解説書や勉強会も用意し、7月から新体制を始動させる。私



半導体パッケージ用ガラス基板のスルーホールにペースト状の導電性金属や絶縁性樹脂を充填できる技術を確認

所在地=千葉県浦安市入船1-5-2
プライムタワー新浦安13階
TEL=047-350-5131

ネステック

社長

月岡 周郎氏



「2025年ほどはどのような年でしたか。『主な受注先である造船業、プラント業、ビル空調関連業のいずれも好調に推移しており、過去最高の売り上げを見込んでいる。特に国内の造船能力を維持・向上する動きが強まっている。当社は船舶エンジン向け製品も

今期過去最高売上げで、8月に創立70周年

手がけており、需要が伸びている。船舶関連で見られる日本回帰の流れは非常にありがたい。中国を中心とする海外からの受注も含め、エンジン向けの需要は底堅いと言っている」

「一足元の景況感をどのように認識していますか。『アラン情勢などへの懸念から原材料費の高騰が続いている。特にアルミニウムや銅の価格が上昇しており、影響は避けられないだろう。また、当社はインドで20年以上事業を展開しているが、同国に進出した当時と比べてロジスティクス関連のコストは約3倍、コロナ前後でも約2倍に

増えている。長引く円安の影響も厳しく、適切に対応していかねばならない」

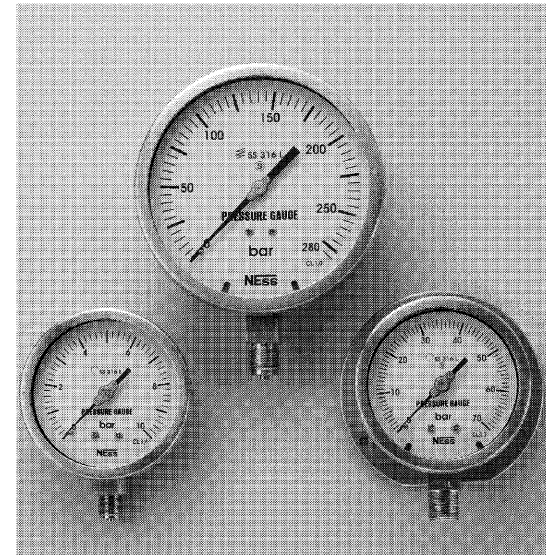
「カタールでのプラント建設に伴う圧力計や温度計の受注が一段落した。一大プロジェクトを無事に終えることができ、安心している。今年は細かな受注を中心に売り上げを伸ばしている。業績も堅調に推移している」と見ている」

「22日から東京ビッグサイト(東京都江東区)で始まる国際海事展『SEA JAPAN(SHIPPERS JAPAN)』に出展します。『シージャパンは外国から来る顧客も多い。英語が話せる従業員を配置し、問い合わせ

せに対応できる体制を整える。当社のネットワークを世界に届ける絶好の機会であり、会社を多くの知らしめることを意識したい。自社製品を世界規模で拡販するために準備を整えて臨みたい」

「8月に創立70周年を迎えます。『当社は少数精鋭で高性能・高品質の製品を提供することが使命。80、90、100周年を迎えます。』

「当社には少数精鋭で高性能・高品質の製品を提供することが使命。80、90、100周年を迎えます。』



インド製の圧力計

所在地=千葉県習志野市茜浜1-12-1
TEL=047-453-1182